

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiku/index.html>

第 2 報
千葉県農林水産部
令和 4 年 6 月 3 日

茎数はやや少ないですが、中干しは適期に行いましょう 「ふさおとめ」の幼穂形成期は6月15日頃の見込み

[生育概況]

5月下旬は日照時間がやや多く、生育の遅速（葉齢の進み）は平年並みで推移しています。生育量は回復傾向ですが、各品種とも平年と比べて茎数は少なめで葉色はやや淡く推移しています。例年より、還元障害の発生しているほ場が多く見られます。

一部のほ場では茎数確保が遅れていますが、「ふさおとめ」、「ふさこがね」は中干しを始める時期に入っています。

気象庁の2週間気温予報では、今後の気温が「低い」と予測しています。幼穂形成期が見込みよりずれる可能性があります。こまめに幼穂を確認しましょう。

表 1 品種別の生育状況（6月1日現在）

品種	植付時期	平年比※			
		葉令の進み	草丈	茎数	葉色
ふさおとめ	4月20日	並	やや長	やや少	やや淡
ふさこがね	4月20日	並	やや短	やや少	やや淡
コシヒカリ	4月20日	並	やや短	やや少	並
	5月1日	並	並	やや少	並
粒すけ	4月20日	並	並	やや少	並

※平年比は過去10か年（2012～2021年）の平均値との比較。

ただし、粒すけは過去7年（2015～2021年）のデータとの比較。

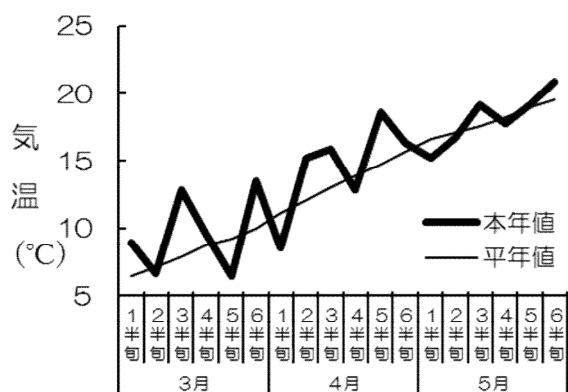


図 1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

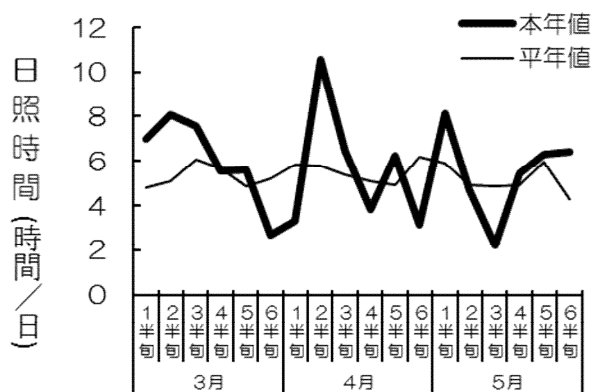


図 2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

[これからの管理のポイント]

■ 適期に中干しを実施します

本年はやや分げつが少なく、中干しに入れる時期が遅くなるほ場では、中干し期間が短くなることが予想されます。茎数が確保されたら速やかに実施できるようにしてください。中干しは無効分げつを抑制し過繁茂を防ぐとともに、地中深く根を張らせる効果があるため、近年頻発している登熟期の高温障害の予防としても有効です。土壤水分にムラが生じやすい場合は「溝切り」を行うことでムラが解消でき中干し効果が高まります。

表2 品種別の中干し開始目標茎数

品種	植付時期	砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m ² (27本/株)	480本/m ² (27本/株)	440本/m ² (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m ² (18本/株)	310本/m ² (17本/株)	300本/m ² (16本/株)
	5月1日	(18本/株)	(17本/株)	(16本/株)
粒すけ	4月20日	472本/m ² (26本/株)	440本/m ² (24本/株)	

※ () 内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安。疎植の場合はこの目標に達しないことがある。

■ 穂肥の時期は幼穂長で判断します

4月20日植えの「ふさおとめ」は6月15日頃から、「ふさこがね」は6月16日頃から、幼穂形成期（幼穂長1mm）となる見込みです。

幼穂が確認できたら速やかに入水するとともに、適期に穂肥を施用しましょう。「ふさおとめ」の穂肥は遅れないよう幼穂長が1mm～1cm、「ふさこがね」は幼穂長が1cmになったら施用しましょう。施肥量は、窒素と加里を10a当たり成分量で各3kg（ただし、房総南部の粘質土は「ふさおとめ」が1～2kg、「ふさこがね」が2～3kg）が目安です。

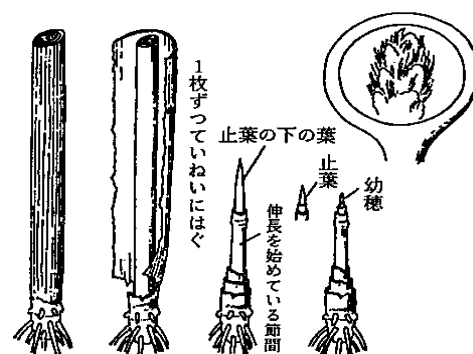


図3 幼穂の確認方法

表3 品種別の幼穂形成期の予測日

品種	植付時期	幼穂形成期予測日（月日）			
		県北 (香取市)	九十九里 (茂原市)	内湾 (千葉市)	県南 (館山市)
ふさおとめ	4月20日	6月18日～	6月16日～	6月15日～	6月15日～
ふさこがね	4月20日	6月20日～	6月17日～	6月16日～	6月16日～

※ 生育ステージ予測システム（令和元年度千葉県試験研究成果普及情報）を基に予測

■ いもち病発生に注意

今後、低温で降雨の日が続くと、いもち病の発生が多くなると予想されます。特に、昨年いもち病の発生があったほ場や、風通しの悪いほ場では注意が必要です。

本年は、初期生育が悪かったため、補植用の置き苗がまだ処分されていないほ場が多く見られます。早めに処分し、感染源を減らしましょう。

■ 畦畔から侵入する「ほふく性雑草」を防除します

畦畔からのイネ科ほふく性雑草やイボクサが本田に侵入する時期です。中干しを始めると茎の節から発生した根が田面に張るため、除去が難しくなります。中干しと併せて取り除きましょう。